



令和2年度





はじめに

高齢化の進展に伴い、認知症の人の数はさらに増加が見込まれています。国では令和元年6月に、「認知症施策推進大綱」を策定し、「共生」と「予防」を車の車輪として、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごすことができる社会を目指した施策が示されました。

本県でも、誰もが認知症になりうるものとして、「共生」の基盤のもと、認知症とともに生きる社会づくりに向け、施策を推進していくこととしています。また、心身の状態が健康と病気の間で連続的に変化するものと捉える「未病」の考え方を取り入れた「認知症未病改善」の取組を進めます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、これまで実施してきた事業ができなくなるなど、活動の現場にとって、とまどいの多い1年となりました。

推進員研修もやむなく中止することとなりましたが、そうした中、各市町村で、オンラインによる交流や研修の実施、オリジナル体操の発信など、創意工夫した様々な取組が実施されました。

これまで県では、平成27年度から推進員研修を開始するとともに、活動の参考としていただけよう、県内市町村や県保健福祉事務所・センターにおける取組をまとめた事例集を作成してきましたが、今回の事例集ではコロナ禍で工夫して取り組まれた事例などもまとめて掲載いたしました。

お忙しい中、原稿作成にご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げますとともに、好事例等、実際の取組を参考にいただき、各地域で、新しい生活様式のもと、さらなる認知症施策の推進に活用していただきますようお願いいたします。

令和3年3月 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課



かながわキンタロウと
神奈川県認知症の人と家族を支えるマーク



利用にあたって

- (1) 相談窓口等情報は、令和2年度に把握した情報をまとめたものです。
- (2) この事例集は、神奈川県高齢福祉課のホームページでダウンロードすることができます。
- (3) お気づきの点がありましたら、下記まで御連絡ください。

連絡先 〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1
神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課高齢福祉グループ
電 話 045-210-4846 (直通)
F A X 045-210-8874
メール anshinkaigo@pref.kanagawa.jp



～目次～

1 各市町村における認知症の取組	1～44 ページ
2 県の取り組み	45～46 ページ
3 推進員配置状況	46 ページ



市町村名	テーマ
横浜市	認知症にやさしい地域を目指して

【自治体の情報】

人口（令和2年9月30日現在）	3,760,472
65歳以上人口（高齢化率）	925,540（24.6%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	481,787（52.1%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成 26年度から 人数：1名 職種：社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：18チーム 設置場所：18区（医療機関）
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 3年度から実施（予定）
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成 28年度作成 名称：オレンジガイド 活用方法：区、包括等関係機関へ配布。相談や研修等で活用。
認知症カフェの開設	カフェ数：123（うちHP掲載89）※令和2年7月時点
認知症予防の取組	取組内容：コグニサイズ教室を一部の区、包括で実施。その他、介護予防教室で実施。

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<p>1 認知症に関する理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ メイト養成研修・フォローアップ研修・交流会の開催。サポーター養成講座の開催。認知症の普及啓発。 <p>2 介護者支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 区やケアプラザにおいて、介護者のつどいや介護セミナー等の開催。相談事業の実施。 <p>3 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ つどいの場の充実（認知症カフェ運営者向け交流会の開催）、認知症カフェの普及啓発媒体の作成。 ○ 地域の実情にあわせた見守り体制の推進（SOSネットワークの取組、認知症高齢者等見守りネットワーク） <p>4 認知症予防、早期診断、早期対応、医療、介護連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症初期集中支援チーム全区設置、効果的な活用。 <p>5 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症対応力向上研修、認知症疾患医療センターを中心に医療体制の構築（認知症疾患医療センター増設5か所）、 認知症ケアパスガイドの推進（今年度改訂） <p>6 若年性認知症支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 若年性認知症支援コーディネーターを中心とした支援体制の構築、支援者向け研修、若年性認知症自立支援ネットワーク会議（今年度はコロナウイルス感染症拡大予防のため延期）、若年性認知症の人や家族のつどい、居場所の充実
--

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

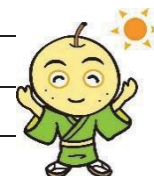
- メイトフォローアップ研修兼交流会で集合研修（人数制限）に加え、オンラインで参加できる形式にして実施。
- 若年性認知症のつどいで人数を制限するなど規模を縮小したため、新規の方を優先的に参加できるように案内。

担当課名：高齢在宅支援課

電 話： 045-671-4129

メール：kf-zaitakude@city.yokohama.jp

市町村名	テーマ
川崎市	リモート対応による事業実施



【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	1, 521, 233
65歳以上人口（高齢化率）	303, 701（20. 0%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	153, 505（50. 5%）
認知症地域支援推進員の配置	平成24年度から 人数：1 職種：介護福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：7チーム 設置場所：各区役所
認知症サポーターステップアップ研修の実施	無（フォローアップは独自で平成25度より実施）
ケアパスの作成・活用方法	平成28年度作成 認知症アクションガイドブック 活用方法：認知症の普及啓発、認知症カフェや家族会などインフォーマルな活動場所についての紹介
認知症カフェの開設	カフェ数：87（元年度末）
認知症予防の取組	取組内容：認知症早期発見モデル事業

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

- ケアパス等の普及啓発、認知症サポーター養成講座、フォローアップ研修
- 認知症訪問支援事業
- 認知症高齢者介護教室
- 認知症ネットワーク（家族会）、若年性認知症家族会等との連携・事業推進（認知症コールセンター「サポートほっと」の運営）
- 認知症医療・介護研修
- 認知症あんしん生活実践塾
- 認知症疾患医療センター運営 等

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

- ・若年性認知症コーディネーターによる本人会議をリモート対応にて実施
- ・認知症サポーター養成講座をリモート対応にて実施
- ・薬剤師向け認知症対応力向上研修をリモート対応にて実施

担当課名：地域包括ケア推進室	電話：044-200-2470
	メール： 40keasui@city.kawasaki.jp

市町村名	テーマ
相模原市	認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	722,774
65歳以上人口（高齢化率）	187,921（26.0%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	364,278（51.6%）
認知症地域支援推進員の配置	平成24年度から 人数：3人 職種：精神保健福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1チーム 設置場所：相模原市
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和4年度から実施（予定）
ケアパスの作成・活用方法	平成27年度作成 名称：もの忘れ安心ガイドブック 活用方法：相談初期の説明用に使用
認知症カフェの開設	平成25年度から開設 カフェ数：39か所
認知症予防の取組	取組内容：通いの場に「あたまの体操DVD」を貸し出している

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<ul style="list-style-type: none"> ○認知症初期集中支援チームの運営 ○もの忘れ安心ガイドブック（認知症ケアパス）の普及 ○支え手帳（認知症地域連携パス）の普及 ○認知症サポーター養成講座の実施 ○認知症カフェ開設等の支援 ○ケース検討会議等への出席 ○若年性認知症の人と家族の交流会開催 ○認知医療介護連携研修、多職種協働研修の実施等

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<ul style="list-style-type: none"> ○オンラインを活用した世界アルツハイマーデー普及啓発事業の実施 認知症になってもお互い様の助け合えるさがみはらを目指して、昨年は集合形式のイベントを実施していたものを今年度はオンラインで実施。 FMさがみ、J：COMでの特別番組や認知症に関する活動の紹介の他、研修会、街づくりミーティング、認知症サポーター養成講座を実施。 ○オンライン認知症カフェへの参加 集合形式による開催が難しい状況が続いていたため、オンラインを活用し認知症カフェを運営している団体へ実態把握や要請に応じ推進員が開催の協力をしている。
--


担当課名：地域包括ケア推進課 在宅医療・介護連携支援センター	電話：042-769-9250
	メール：houkatsucare@city.sagamihara.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
横須賀市	認知症の人が思いを伝えられ、住み慣れた地域で暮らし続けられるまち

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	397,846
65歳以上人口（高齢化率）	126,481（31.8%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	66,625（52.7%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成26年度から 人数：1 職種：社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：4チーム 設置場所：医療機関
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成元年度から実施 / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成27年度作成 名称：横須賀にこっとパス 活用方法：医療機関、民生委員、行政窓口などに配架
認知症カフェの開設	令和・平成27年度から開設 カフェ数：17（直営なし）
認知症予防の取組	取組内容：・やわらか脳体操教室 ・脳の健康度チェック（ファイブコグ）

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ情報交換会（認知症サポーター交流会）の開催 ・メイト連絡会の開催 ・よこすかオレンジLINEに登録の認知症サポーター、オレンジパートナー、メイト等に、行方不明になった認知症の方の情報発信 ・よこすかオレンジLINEでの、認知症に関わる方のコラム配信 ・アルツハイマー月間「オレンジ色を身に着けよう」で、若年性認知症の人と家族のメッセージと認知症の人と家族を支えるマークをシールにして配布 ・認知症の人と家族の会、若年認知症の会タンポポと若年性認知症つどいの開催 ・「本人ミーティング」を若年性認知症コーディネーターと共催 	
---	---

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<p>○Zoomによるリモート認知症カフェ情報交換会（認知症サポーター交流会）の開催</p> <p>○Zoomによるリモートメイト連絡会の開催</p> <p>○ZoomによるリモートよこすかオレンジLINE登録説明会</p>
--

担当課名：健康長寿課

電話：046-822-8135

メール：chcenter-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
平塚市	推進員中心に認知症になっても安心して暮らせるまちをめざして事業展開

【自治体の情報】

人口（令和2年1月1日現在）	257,713
65歳以上人口（高齢化率）	72,040（27.9%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	36,504（50.7%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成 27年度から1人、28年度から13人 職種：保健師、看護師、社会福祉士、主任ケアマネ、介護福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：市内医療機関
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 27年度から実施
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成 27、30年度作成 名称：知ってあんしん ひらつか認知症ガイドブックVol.2 活用方法：相談業務やステップアップ研修等で活用
認知症カフェの開設	令和・平成 30年度から開設 カフェ数：9
認知症予防の取組	取組内容：予防教室（コグニ体験）、脳いきいき講座、脳とからだの体操リーダー養成講座を実施

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

- ◎サポーター養成講座 ◎認知症上級（ステップアップ）研修 ◎認知症相談
- ◎認知症に関する教育 ◎脳とからだの体操リーダー養成講座 ◎認知症ケアパスの発行
- ◎アルツハイマーデーイベント：パネル展、駅前公園の噴水「海の賛歌」オレンジ色ライトアップ



◎認知機能検査



◎脳いきいき講座



◎VR 認知症体験会

◎初期集中支援事業

◎認知症地域支援推進員連絡会

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

- ◎認知症カフェ登録カフェ団体へ非接触式体温計の配布
- ◎フレイル予防事業と協力して「今だからこそ自宅でできる！フレイル予防」リーフレットを作成・配布し情報発信（4回）
- ◎「織り姫と一緒に自宅でできる！ちょい脳トレ体操」動画配信



🔍平塚市介護予防チャンネル
(YouTube)

<https://www.youtube.com/channel/UC-ZimmsRNYroJ4vhquRA6dQ>



担当課名：地域包括ケア推進課

電話：0463-20-8210（直通）

メール：keasui@city.hiratsuka.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
鎌倉市	地域で認知症支援体制を構築するための取組み

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	177,063
65歳以上人口（高齢化率）	54,032（30.5%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	30,994（57.4%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成29年度から 人数：12 職種：保健師、看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：10 設置場所：地域包括
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成30年度作成 名称：鎌倉市認知症ケアパス 活用方法：認知症サポーター養成講座、相談等で活用。
認知症カフェの開設	令和・平成26年度から開設 カフェ数：8
認知症予防の取組	取組内容：地区健康教育でコグニサイズ等を活用

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

1 認知症地域支援推進委員会の開催 推進員と共に認知症関連の事業（ケースの支援の情報提供、サポーター養成講座等の普及・啓発）等について、委員会の場で協議している。
2 サポーター養成講座 地域包括と連携し、市内の小・中学校等を対象にサポーター養成講座を実施した。
3 認知症の普及・啓発 ・認知症対応ガイド（お店版、地域版） ・世界アルツハイマー月間に啓発活動として「オレンジ色を身につけ認知症への理解を深めよう」を実施。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<ul style="list-style-type: none"> ・世界アルツハイマー月間に、イベントの代わりに、個々で「オレンジ色を身につけ認知症への理解を深めよう」という啓発活動を、近隣市である横須賀市・逗子市・三浦市・葉山町とともに行った。 ・サポーター養成講座を、感染対策を徹底し、収容人数の50%以下で開催。 ・サポーター養成講座を、大学の授業として、パワーポイントによる動画を作成し、オンライン配信で実施。
--

担当課名：高齢者いきいき課 (市民健康課)	電話：0467-61-3977
	メール：h-kourei@city.kamakura.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
藤沢市	認知症になっても安心してらせるまちふじさわ

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	438,177
65歳以上人口（高齢化率）	107,241（24.5%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	56,307（52.5%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成 27年度から 人数：2 職種：社会福祉士・介護福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：基幹型地域包括
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 27年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成 27年度作成 名称：知ってあんしん認知症ガイドブック（認知症ケアパス） 活用方法：サポーター養成講座、関係機関、地域包括、商店会連合会、金融機関、イベント等で、周知配布。
認知症カフェの開設	令和・平成 29年度から開設 カフェ数：12
認知症予防の取組	取組内容：認知症予防教室、コグニサイズの普及

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

- ① 認知症の診断をうけたご本人出演の動画や、ポスターを作成。

認知症の診断を受けたご本人にモデルになっていただき、ポスターを作成しました。診断を受けた後も、ヨガインストラクターとして、地域で活動を継続されています。



- ② 9月のおれんじキャンペーンでは、市内4図書館と大型書店3店によるブックフェア開催。

ブックフェア「認知症本人とともに」。認知症ご本人による書籍や絵本など、いろいろな角度からの書籍を集めて開催しました。日本認知症本人ワーキンググループ事務局から著者直筆のPOPをいただき、掲示していただきました。



- ③ 市役所にて、パネル展「知っていますか？認知症」を開催。認知症に関する展示とともに、防災（要配慮者への避難所での支援等）について展示。

要配慮者用のスペースとして、避難所で使用するパーティションを展示しました。



- ④ 地域見守り活動に関する協定を締結している藤沢市商店会連合会の会員に、「知ってあんしん 認知症ガイドブック（認知症ケアパス）」を配布。

推進員が、各商店会連合会の会長さんを訪問し、お届けしました。



⑤居場所事業担い手を対象に、「認知症 VR 体験会」や介護予防の体操を学ぶ「認知症 共生と予防」講習会開催。

朝日新聞社とエイバックス株式会社
と協力し、開催しました。



⑥イベント「あなたの人生会議」「子育てメッセ」にて認知症普及啓発ブース出展。

「子育てメッセ」ではダブルケアの視点から、認知症普及啓発も行いました。



⑦認知症関連情報をまとめた「いじさわおれんじNews vol3」発行。

9月に開催された、おれんじキャンペーンの内容を中心に作成し、関係機関やサポーター養成講座等で配布しました。



【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

○オンラインでのサポーター養成講座の開催

一般市民を対象に、オンラインによるサポーター養成講座を10月に開催。

(3月にも開催予定)

○市ホームページにて認知症に関する取り組みを紹介する「キュンさんぽ」を毎月更新。



担当課名：地域包括ケアシステム推進室

電話：0466-50-3544

メール：fj-houkatu-s@city.fujisawa.lg.jp

市町村名	テーマ
小田原市	オンライン会議システム（Zoom）を活用した認知症家族会の開催

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	189,572
65歳以上人口（高齢化率）	57,050（30.1%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	29,523（51.7%）
認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：2人（平成29年度まで1人） 職種：保健師、社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：12 設置場所：地域包括支援センター
認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成25年度から実施
ケアパスの作成・活用方法	平成30年度作成 名称：にんちしょうケアパスおだわら 活用方法：認知症サポーター養成講座や地域のサロン等で配布。地域包括支援センターや医療機関、歯科診療所、薬局、介護サービス事業所等で相談対応時に使用。
認知症カフェの開設	カフェ数：なし（民間のカフェ実施団体に対する補助制度を令和2年度からスタート）
認知症予防の取組	取組内容：脳トレなどの認知症予防事業の実施

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

キャラバンメイトと協力し認知症に係る普及啓発活動に努めるほか、認知症初期集中支援チーム員会議の運営や、おだわら・はこね家族会の運営など、認知症の家族の方の支援に取り組んでいる。

また、今年度は、県家族会及び箱根町と共催で、杉山孝博先生（川崎幸クリニック委員長・県家族会支部代表）を講師にお招きし、家族交流会と講演会を実施。認知症サポーターにもステップアップ研修という位置づけで呼びかけ、参加を促した。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

緊急事態宣言を受け、おだわら・はこね家族会や認知症サポーター養成講座の一部を中止した。

家族会については、ある参加者が夫を一人にして家においておけないから参加できないという声があり、また、他の参加者からも直接対面できなかったとしてもオンライン会議システム（Zoom）を活用して話す機会が欲しいという声もあり、令和2年11月からオンライン会議システムと対面の合同開催、2度目の緊急事態宣言後の令和3年1月からは、オンライン会議システムのみで開催し、6～8名の方（支援者・行政除く）に参加いただいている。実施に当たっては、県が作成したリモート認知症カフェマニュアルがとても参考になった。

担当課名：高齢介護課	電話：0465-33-1864
	メール：ko-hokatsu@city.odawara.jp

市町村名	テーマ
茅ヶ崎市	新オレンジプラン及び認知症施策推進大綱で示された視点を重視しながら従来の取り組みを継続し、認知症の予防に努めるとともに、認知症となっても地域で生活できるような支援体制整備に努め、周囲の方々の理解が得られるよう周知促進を図る。

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	244,391
65歳以上人口（高齢化率）	64,666（26.4%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	34,090（14.0%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成29年度から 人数：1人 職種：保健師（29年度～週5日、31年度～週3日）
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：市役所
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成23年度開始、27年度から毎年実施したが、令和2年度は未実施
ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：茅ヶ崎市認知症あんしんガイド 活用方法：関係機関配布や機械をとらえた周知、サポーター養成講座時配布、窓口相談での活用等
認知症カフェの開設	令和2年度から開設予定であったが未実施、市実施予定のカフェは1か所、他団体等の実施するカフェは5か所あるが、展示の形式で3回実施されている。保健所実施の若年性認知症のつどい「うみの会」は開催された。
認知症予防の取組	取組内容：コロナ対策通信紙「介護通信」に脳トシの記事掲載し周知

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

実施事業：認知症施策検討会、認知症初期集中支援事業、認知症ケアパス「茅ヶ崎市認知症あんしんガイド」の周知と活用、企業や学校からの依頼や新規委嘱された民生委員児童委員対象の認知症サポーター養成講座、SOSネットワーク事業、茅ヶ崎市版エンディングノート「わたしの覚え書き～希望のわだち～」の周知と配布、世界アルツハイマーデー及びアルツハイマー月間における広報紙への記事掲載とJCOMへの放送、本庁舎設置のデジタルサイネージへの掲載により、「あんしんガイド」と「SOSネットワーク」についての周知を図った。他にキャラバン・メイト管理、家族等からの相談等への対応、電話相談や訪問の実施等。

未実施事業：第3回オレンジDay、ステップアップ講座、認知症カフェ、地域サロンへの参加及び「わたしの覚え書き」書き方講座は、緊急事態宣言期間も含め、感染防止のための三密を防ぐことが難しいと判断し中止とした。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

・感染防止に努めつつ認知症施策検討会と認知症初期集中支援チーム員会議の早期開催により認知症の方とその家族、及び介護者の不安軽減とサービス導入に向けた助言を得る機会を確保した。

担当課名：課	電 話： 0467-82-1111
	メー ル： koureikaigo@city.chigasaki.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
逗子市	—

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	59,282
65歳以上人口（高齢化率）	18,696（31.5%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	10,822（57.9%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・ <u>平成</u> 27年度から 4人： 職種：保健師・看護師
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：市役所
認知症サポーターステップアップ研修の実施	<u>令和</u> ・平成 3年度から実施（ <u>予定</u> ） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・ <u>平成</u> 29年度作成 名称：認知症ケアパス 活用方法：医師会加入医療機関へ配架依頼・相談時利用
認知症カフェの開設	令和・ <u>平成</u> 28年度から開設 カフェ数：2
認知症予防の取組	取組内容：各地域包括支援センターの地域への啓発事業

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<ul style="list-style-type: none"> ・初期集中支援チーム員会議開催。 ・各包括が行うサポーター養成研修開催支援。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<ul style="list-style-type: none"> ・Zoom 利用によるオレンジ・カフェ開催。
--

担当課名：高齢介護課	電話：046-873-1111
	メール：houkatsu@city.zushi.lg.jp

市町村名	テーマ
三浦市	—

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	42,521
65歳以上人口（高齢化率）	16,858（39.6%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	8,804（52.2%）
認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：4 職種：看護師 外
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：市
認知症サポーターステップアップ研修の実施	無
ケアパスの作成・活用方法	平成30年度作成 名称：三浦市認知症ケアパス オレンジガイド 活用方法：市内商業施設等に配架
認知症カフェの開設	令和・平成 年度から開設 カフェ数：
認知症予防の取組	取組内容：

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

—

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

—

担当課名：高齢介護課	電話：046-882-1111(内線352)
	メール： hoken0201@city.miura.lg.jp

市町村名	テーマ
秦野市	認知症を支えるまちに ～世界アルツハイマー月間での普及啓発～

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	160,475
65歳以上人口（高齢化率）	48,635（30.3%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	23,169（47.6%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成27年度から 人数：9 職種：保健師 看護師 社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：高齢介護課
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成29年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成27年度作成 名称：秦野市認知症ガイドブック 活用方法：窓口配架 講座での配付 ダイジェスト版を作成・市内の商店等に配置し市民に広く周知している。
認知症カフェの開設	令和・平成27年度から開設 カフェ数：23
認知症予防の取組	取組内容：専門医に学ぶ認知症講座、コグニサイズ教室 コグニサイズ普及員養成、脳の健康チェック（iPad） 脳の健康教室（KUMON）、脳の健康教室OB会 認知症ステップアップ講座（MCⅠ・コグニサイズ編）

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

世界アルツハイマー月間・世界アルツハイマーデーでの認知症に関する普及啓発活動を実施

認知症に関する普及啓発活動として、市役所本庁舎や保健福祉センター、各地域包括事務所などに特設ブースを設けました。



また、認知症施策について、市広報誌や市内の情報誌（タウンニュース）などのほか、ラジオ番組に取り上げていただき、認知症に関する相談がより多く寄せられました。

引き続き、認知症に関する普及啓発活動を行っていきます。



【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

- 市内推進員が情報共有をする推進員研究会をリモートで開催しました。
- サポーター養成講座を青空教室として開催したほか、認知症の本人と介護者のつどいを天気の良い日に「お散歩サロン」として開催しました。

担当課名：高齢介護課

電 話： 0463-82-7394

メー ル： kourei@city.hadano.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
厚木市	アルツハイマーデー「あつぎオレンジ☺フェスタ」における取組について

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	223,743
65歳以上人口（高齢化率）	57,502（25.7%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	27,301（47.6%）
認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：12 職種：保健師、看護師、介護支援専門員、社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：0 設置場所：地域包括（今後の予定）
認知症サポーターステップアップ研修の実施	平成31年度から実施（令和2年度は中止）
ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：厚木市認知症ケアパス 活用方法：相談時の説明に使用
認知症カフェの開設	平成29年度から開設 カフェ数：4
認知症予防の取組	取組内容：物忘れ予防・脳いきいき教室

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<p>【あつぎオレンジ☺フェスタでの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展（相談窓口、行政サービス、推進員、初期集中支援チーム、家族会などの紹介） ・図書館特集展示（認知症に関する本、資料の展示） ・認知症サポーター養成講座 ・映画上映会（ケアニン2の上映） ・認知症相談（認知症地域支援推進員による相談） ・認知機能測定 ・普及啓発物品の配布（リーフレット、認知症予防トイレットペーパー） ・デジタルサイネージによる周知 ・認知症予防特別メニュー（定食）の追加 ・地域包括ケアTIME S秋号における認知症特集ページの掲載

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

—

担当課名：福祉総務課	電話：046-225-2047
地域包括ケア推進担当	メール：1900-08@city.atsugi.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
大和市	認知症になってもあんしんやまと

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	240,523
65歳以上人口（高齢化率）	57,494（23.9%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	29,522（12.7%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・ <u>平成</u> 27年度から 人数：14 職種：保健師、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：市
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・ <u>平成</u> 29年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・ <u>平成</u> 28年度作成 名称：認知症になってもあんしんやまと 活用方法：相談、事業周知等で活用、公共施設、駅、郵便局等で配付
認知症カフェの開設	令和・ <u>平成</u> 27年度から開設 カフェ数：15
認知症予防の取組	取組内容：コグニサイズセミナー、コグニバイクの設置等

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<p>○認知症地域支援推進員を「認知症コンシェルジュ」と呼称し、推進員活動を進めている。</p> <p>○推進員は地域包括の担当エリアごとに地域課題に取り組むことに加え、市全体として取り組むべき課題別部会（3部会）としてチームで取り組みを進めている。</p> <p>①認知症の人の声を聴く部会：若年性認知症本人ミーティングの実施、認知症の本人とのワークショップ開催等</p> <p>②認知症多職種協働研修部会：市内多職種が参加する研修会の企画、実施等</p> <p>③認知症サポーターの活動を考える部会：チームオレンジの取り組みに向けた準備、検討等</p>
--

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<p>○認知症予防コグニサイズセミナー等の講座で「オンライン通いの場」アプリの活用について周知し、講座内で市職員がダウンロードについてサポート。</p> <p>○コロナ禍で認知症介護での更なる行き詰まりを軽減するため、従来対面で実施していた公認心理師による認知症介護者の個別相談会をオンラインで実施。</p> <p>○コロナ禍で社会参加や交流の機会が減少していることから、認知機能低下、症状進行の予防のための「認知症予防Q&A」を市ホームページに公開。</p> <p>○コロナ禍で認知症の人との生活で難しさを感じているご家族等に向け、「認知症介護 Q&A」を市ホームページに公開。</p>
--

担当課名：人生100年推進課	電話：046-260-5612
	メール：ke_jinse@city.yamato.lg.jp

市町村名	テーマ
伊勢原市	認知症に対する正しい知識と理解への普及啓発

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	100,461
65歳以上人口（高齢化率）	26,531（26.4%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	13,392（50.4%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成 27年度から 人数：6人 職種：保健師、看護師
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1チーム 設置場所：医療機関
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 2年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成 28年度作成 名称：知ってあんしん認知症ガイドブック 活用方法：相談時や認知症に関する講座・医療機関等には生かし地域住民へ配架を実施。市HPより閲覧も可能。
認知症カフェの開設	令和・平成 29年度から開設 カフェ数：6
認知症予防の取組	取組内容：コグニサイズの普及、通所型サービスCで認知症予防プログラムを実施、タブレットを活用した認知機能検査とコグニサイズ等教室実施

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

○アルツハイマーデー普及啓発イベント

- 市役所庁舎で認知症啓発パネル展示や包括支援センター等でオレンジライトアップを行った。



○伊勢原版オレンジパートナー活動支援

- 認知症サポーターステップアップ研修で認知症高齢者への声かけ模擬体験を実施。また、オレンジパートナー交流会を実施し、新旧のパートナーの活動支援を行った。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

—

担当課名：介護高齢課	電 話： 0463-94-4725（直通）
	メー ル： kaigo@isehara-city.jp

市町村名	テーマ
海老名市	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	135,979
65歳以上人口（高齢化率）	33,599（24.7%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	16,529（12.1%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・ 平成 27年度から 人数：9 職種：保健師、看護師、社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 活動拠点：えびな在宅医療相談室
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和 ・平成元年度から実施
ケアパスの作成・活用方法	令和・ 平成 28年度作成 名称：認知症ケアパス 活用方法：市、包括等に配架。認知症関連事業で配布。
認知症カフェの開設	令和・ 平成 28年度から開設 カフェ数：6
認知症予防の取組	取組内容：介護予防教室、出前講座の実施

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<ul style="list-style-type: none"> ○推進員会議の開催（月1回） ○認知症初期集中支援チーム（チーム員会議月1回開催） ○認知症の正しい理解と普及啓発活動 アルツハイマーデーのイベント（図書館フェア、市役所食堂にて「認知症予防メニュー」の提供、パネル展）、ケアパスの配布、介護予防教室の開催 ○認知症サポーターステップアップ講座の開催 ○高齢者（認知症）あんしん補償事業（賠償責任保険）

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<ul style="list-style-type: none"> ○推進員会議、認知症初期集中支援チーム員会議をZoom会議で開催 ○感染拡大防止対策を徹底し、認知症カフェを開催 ○サポーター養成講座は定員を通常の半数にし、複数回開催 ○民生委員など地域の支援者がマスクや自宅でできる体操などを記載したちらしを配布し、高齢者の状況や変化などを確認 ○市ホームページにコグニサイズや自宅でできる介護予防等の動画、お役立ち情報などを掲載

担当課名：地域包括ケア推進課	電話：046-235-4950
	メール：houkatsu@city.ebina.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
座間市	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	131,769
65歳以上人口（高齢化率）	33,822（25.7%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	16,881（49.9%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・ 平成 27年度から 人数：11 職種：保健師、看護師、社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：相模が丘地域包括
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・ 平成 27年度作成 名称：座間市認知症ケアパス 活用方法：サポーター養成講座で配布、相談時利用、関連機関での配架、ホームページ掲載
認知症カフェの開設	令和・ 平成 28年度から開設 カフェ数：3
認知症予防の取組	取組内容：講演会、コース制認知症予防教室

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<ul style="list-style-type: none"> ・推進員会議の開催（1回／月程度） チーム員や他関連団体も参加し、情報共有、意見交換を実施した。 ・アルツハイマーデーイベント 市、包括、社協、図書館で認知症に関する普及啓発を目的に実施。関連情報の展示やチラシの配架の他に、認知症の人や家族に向けての来庁者によるメッセージツリーの作成やオレンジパートナーからのメッセージの展示、市内認知症カフェ参加者の作品展示等実施。 ・サポーター養成講座の開催 基礎講座に加え、応用編の講座も実施。オレンジパートナーの活動の場にもなっている。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<ul style="list-style-type: none"> ○推進員やチーム員との連携 文書会議で開催を継続し、意見交換や情報共有を実施した。 ○サポーター養成講座や認知症予防教室 感染症予防対策を講じながら継続して実施した。 ○認知症カフェ 1カ所が、神奈川県からの支援を受け、リモート認知症カフェの実施を検討している。 ○オレンジパートナーとの連携 今後の予定や関連情報を郵送で通知した。また市内コミュニティセンターを複数カ所利用し、分散して意見交換会を実施した。

担当課名：介護保険課

電話：046-252-7084 (直通)

メール：kourei@city.zama.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
南足柄市	認知症支援マップの作成について

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	41,759
65歳以上人口（高齢化率）	13,632（32.6%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	7,201（52.8%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成25年度から 人数：5 職種：主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：基幹型地域包括支援センター
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成28年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成29年度作成 名称：南足柄市認知症相談ガイドブック 活用方法：ホームページで掲載
認知症カフェの開設	令和・平成27年度から開設 カフェ数：2
認知症予防の取組	取組内容：脳の健康教室、脳トレ教室（コグニサイズ）

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

平成23年より「認知症」をテーマに多職種で意見交換をしながら認知症支援マップの作成に取り組んできた。

早期に認知症の本人や家族が相談につながることを、あらゆる地域資源の中から参加できる場所を見つけて欲しいとの思いから、相談窓口の紹介、認知症カフェや家族のつどい、介護保険の通所サービス等の情報一覧と地図情報を掲載している。また各施設等の詳細はQRコードからの閲覧もできるように調整中である。今後市のホームページ上に支援マップ情報の掲載、医療機関等へ紙媒体の配布を行い、幅広く活用してもらえよう今年度中に周知をしていく予定である。



【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

○認知症カフェ

認知症カフェは感染対策を講じた上で開催（緊急事態宣言中を除く）。マスクの着用、検温・手指消毒の徹底、飛沫防止のため飲食を行う時間を設定し（10分間）、飲食時は会話をしない様に注意喚起の立札を設置する等工夫をしながら実施。また参加については予約制とし、毎回参加者の座席配置を把握している。

担当課名：高齢介護課	電話：(0465) 74-3196
	メール：tikihoukatushienn@city.minamishigara.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
綾瀬市	新型コロナウイルス感染防止対策を取り入れながらの活動

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	85,054
65歳以上人口（高齢化率）	23,196(27.3%)
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	11,932(14.0%)
認知症地域支援推進員の配置	令和・ 平成 27年度から 人数：5 職種：看護師、介護福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：直営
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・ 平成 29年度作成 名称：認知症ケアパス 活用方法：医療・介護に関する情報をまとめた「あやせいきいき健康だより（地域包括ケアガイドブック）」に掲載し、全戸配布及び市ホームページに掲載
認知症カフェの開設	令和・ 平成 29年度から開設 カフェ数：4
認知症予防の取組	取組内容：コグニサイズ、コグニバイク

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

○推進員の配置

推進員は、各包括（直営基幹型、委託型）に配置しています。認知症に関する相談、認知症予防教室（コグニサイズ、コグニバイク体験講習会）、認知症出前講座や認知症カフェの運営を行っています。また、認知症初期集中支援チームのチーム員を兼ねていて、チーム員として活動しています。

○認知症予防教室、認知症出前講座

認知症予防に効果があると言われているコグニサイズの開催を企画、運営を行ったこと、保健福祉プラザに設置されているコグニバイクを使用してもらうために、体験講習会の講師を行いました。また、事業所向けに認知症出前講座を実施しました。

○認知症カフェ

各包括では「らくらくカフェ」と称して行っています。新型コロナウイルス感染防止の観点から、使用できなくなった会場がありましたが、可能な範囲で行いました。

○認知症ケアパス

全戸配布している地域包括ケアガイドブックに認知症ケアパスや推進員のことを含めた認知症に関する記事を掲載し、市民に周知を図っています。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

認知症地域支援推進員は 75 歳以上の独居高齢者にアウトリーチによる活動をしています。緊急事態宣言下では訪問することが感染リスクとなる危険があったため、家庭でできるパンフレットをポスティングしたり、電話相談を主に対応していました。

担当課名：地域包括ケア推進課	電 話： 0467-77-1116
	メー ル：wm.705633@city.ayase.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
葉山町	認知症になっても安心して暮らせるまち

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	32,886
65歳以上人口（高齢化率）	10,271（31.2%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	5,732（55.8%）
認知症地域支援推進員の配置	平成29年度から 人数：7 職種：保健師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：町役場・地域包括
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和4年度から実施予定
ケアパスの作成・活用方法	平成31年度作成 名称：知ってあんしん認知症ガイドブック（認知症ケアパス） 活用方法：相談時の説明に使用
認知症カフェの開設	平成27年度から開設 カフェ数：4
認知症予防の取組	取組内容：予防教室（コグニサイズ）の実施

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症ケアパス 地域包括をはじめ、介護保険事業所や地域住民とワーキングを行い、平成29年度に素案を作成。相談時等に試験的に使用し、令和元年度に「知ってあんしん認知症ガイドブック（認知症ケアパス）」として冊子化した。相談があった際、説明用に使用している。 ● オレンジコーディネーター養成研修に参加 今後の認知症サポーターステップアップ研修の実施及びオレンジ設置に向け、推進員がオレンジコーディネーター養成研修に参加した。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、認知症カフェや予防教室をはじめとした様々な事業の延期・中止を余儀なくされた。感染症の拡大状況を見ながら、三密を回避しての事業を実施するとともに、電話等対面とは異なる形で支援を継続した。</p> <p>また、新型コロナウイルス在宅高齢者支援事業として、町内在住の75歳以上の高齢者（要支援・要介護認定を受けていない者と、要支援・要介護認定を受けているが介護サービス未利用者）にアンケート兼相談票と包括の案内、在宅でできる運動の案内を送付し、支援の必要な対象者に電話や訪問でフォローを行った。</p> <p>推進員の研修等の参加はオンライン会議を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大防止と支援員の活動が両立できるよう配慮した。</p>
--

担当課名：福祉課	電話：046-876-1111 内線234
	メール：kaigo-fukusi@town.hayama.lg.jp

市町村名	テーマ
寒川町	認知症になっても安心して暮らし続けられるまちづくり

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	48,847
65歳以上人口（高齢化率）	13,359（27.3%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	6,493（48.6%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成 29年度から 人数：1 職種：社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：寒川町高齢介護課
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 30年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成 28年度作成 名称：寒川町高齢者ガイド 活用方法：窓口で配布、ホームページで掲載、町内の医療機関、歯科医療機関、薬局に配架
認知症カフェの開設	令和・平成 28年度から開設 カフェ数：2
認知症予防の取組	取組内容：介護予防事業

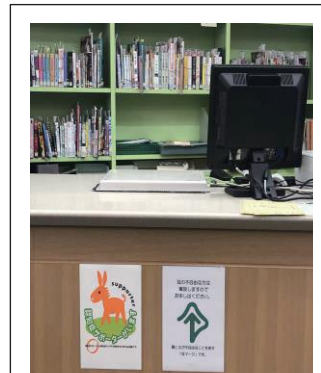
【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

- ・広報活動として、町の広報誌、社会福祉協議会の広報誌にて、認知症について情報発信した。
- ・認知症サポーター養成講座の開催。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

・住民向けの認知症サポーター養成講座の開催が難しい中、職域サポーターを増やす取り組みを行った。

- ・写真左：ヤクルト寒川センターでの認知症サポーター養成講座の様子
- ・写真右：「認知症サポーターがいます」のステッカーを図書館に掲示



担当課名：高齢介護課

電話：0467-74-1111

メール：kaigo@town.samukawa.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
大磯町	認知症を知り、身近に感じてもらえるまちづくり

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	32,637
65歳以上人口（高齢化率）	11,125（34.1%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	5,798（17.7%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成30年度から 人数：2人 職種：保健師、社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1チーム 設置場所：地域包括支援センター
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成30年度作成 名称：認知症ケアパス 活用方法：窓口配布、地域のつどい等で配布
認知症カフェの開設	令和・平成30年度から開設 カフェ数：1
認知症予防の取組	取組内容：スクエアステップのひろば、予防教室

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<p>○図書館に協力依頼し認知症コーナーを設置。</p> <p>9月の1か月間、図書館に認知症や介護に関する本と普及啓発の冊子やチラシを設置し、来館した多くの方に手に取ってもらえた。</p> <p>○認知症に関するチラシや冊子をまとめたミニコーナーを設置。（保健センター内）</p> <p>○サポーター養成講座の実施。（金融機関）</p>

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<p>○ケアパスの見直し</p> <p>普及啓発に関するツール不足の課題があり、既存のケアパスを見直しガイドブックを作成予定。</p>

担当課名：福祉課	電話：0463-61-4100（代表）
	メール：kaigo@town.oiso.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
二宮町	自立で安心、地域でいきいきとふれあうまちづくり

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	28,126
65歳以上人口（高齢化率）	9,858（35.1%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	5,434（19.3%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成 29年度から 人数：1 職種：社会福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：二宮町役場
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 3年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成 30年度作成 名称：二宮町認知症ケアパス～認知症とともに暮らす道しるべ～ 活用方法：高齢者や介護者、関係機関へ配布
認知症カフェの開設	令和・平成 30年度から開設 カフェ数：2
認知症予防の取組	取組内容：地域の通いの場で講座の実施等

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<p>○認知症予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の通いの場の活動支援、推進員による講座の実施 <p>○相談・支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チームの設置 ・サポーター養成講座、認知症カフェ（にのにんカフェ）等の開催 ・認知症等行方不明SOSネットワークの拡充

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<p>○認知症カフェ（にのにんカフェ）</p> <p>前年度と参加人数や会場等を変更し開催。今後はオンラインでの開催を予定。</p>
--

担当課名：高齢介護課	電話：0463-71-5348
	メール：houkatsu@town.ninomiya.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
中井町	認知症を知り、理解を深めていただく機会をつくる取組み

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	9,299
65歳以上人口（高齢化率）	3,224（34.7%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	1,695（51.3%）
認知症地域支援推進員の配置	令和（平成）29年度から 人数：1 職種：介護福祉士
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：中井町（保健福祉センター）
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 年度から実施（予定） / （無）
ケアパスの作成・活用方法	令和（平成）30年度作成 名称：認知症ガイドブック 活用方法：相談、地域の集まりでの啓発等に使用
認知症カフェの開設	令和（平成）30年度から開設 カフェ数：1
認知症予防の取組	取組内容：「がこい」教室、地域の集まり等で講話実施

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

○認知症カフェ事業

推進員を中心に社協、地域包括、町と協働で開催。開催回数を年6回から8回へ増やす計画だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止上、3回休止した。ボランティア人数の増加を図った。

○サポーター養成講座

一般町民、民生委員、町職員を対象に実施。小学生、消防団対象の講座を計画したが、新型コロナウイルスの影響から次年度以降に再調整することとなった。

○アルツハイマーデー・月間における啓発活動

初の試みとして公民館図書室との連携事業により、認知症に関する本やパンフレットの展示コーナーを設置した。

月間中には公民館事業で認知症講座も開催された。

○推進員活動に関する広報を増やした（町広報、社協だより等）



【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

- ・認知症カフェ事業休止中の取組として、推進員から参加者(家族)、ボランティアへ電話訪問を行い、近況等を伺った。
- ・もとより認知症カフェ事業の開催回数を増やす試みとして、プログラムを設定せず、交流・懇談中心の内容で行うことを計画していたが、休止期間を経て再開した際、この方法で2回開催し、「ゆっくり話ができてよかった」との感想をいただいた。次年度も継続する予定。

担当課名：健康課	電 話： 0465-81-5546
	メー ル： kenkou@town.nakai.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
大井町	認知症でも認知症でなくても助け合える・気軽に声を掛けられる大井町

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	17,285
65歳以上人口（高齢化率）	4,896（28.3%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	2,424（49.5%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成27年度から 人数：3人（令和2年度～） 職種：保健師3人
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 平成29年度から実施 設置場所：直営地域包括支援センター
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成28年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成30年度作成 名称：大井町認知症ガイドブック 活用方法：窓口・認知症カフェ・家族のつどいで配布、ホームページ掲載、町内医療機関・歯科医院・薬局にて回覧
認知症カフェの開設	令和・平成29年度から開設 カフェ数：1
認知症予防の取組	取組内容：コグニサイズの実施（一般介護予防事業、介護予防・生活支援サービス事業）コグニサイズ自主グループへの支援、介護予防・生活支援サービス事業による iPad を活用した認知機能評価・事業展開

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェひだまりの月1回の開催 ・認知症家族のつどいの2か月に1回の開催 ・認知症ガイドブックの更新と、町内医療機関・薬局への配布と閲覧用資料の説明 ・地域ケア会議内での「若年性認知症」の方についての学習と事例検討 <p>◎新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度は小中高生への出前講座や授業、介護予防事業や認知症事業への受け入れは行えなかった。サポーター養成講座・ステップアップ講座も延期予定。</p>
--

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェを広い会場に設定し、手作りパーテーションにて前後左右を囲んだ席の設定をした。（お茶を飲みマスクを外す瞬間があるということで来店者から不安の声があったため。） ・認知症家族のつどいは、以前よりも参加者同士の距離をとり開催。コーヒーの提供を行ったが、会話時はマスクをするように徹底した。 ・町民が必要最低限の外出の中で情報収集が行えるように医療機関・薬局へのガイドブックの配布と必要そうな方への声掛けと配布を依頼した。

担当課名：福祉課	電話：0465-83-8024
	メール：fukushi@town.oikanagawa.jp

市町村名	テーマ
松田町	住民と協働で地域を支える取組の推進

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	10,976人
65歳以上人口（高齢化率）	3,744人（34.11%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	1,961人（52.64%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成 元年度から 人数：2人 職種：看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：松田町地域包括支援センター
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 27年から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成 30年度作成 名称：認知症になっても安心して暮らせるまちをめざして 活用方法：全戸配布・初期相談時・認知症サポーター養成講座時等
認知症カフェの開設	令和・平成 29年度から開設 カフェ数：1
認知症予防の取組	取組内容：認知機能低下予防教室を3か月間実施。前後で認知機能評価を実施。終了後自主グループ活動に移行し支援を行っている。

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

- ・緊急事態宣言解除後、自治会から依頼を受けサポーター養成講座を開催。
例年サポーター拡大に向け、全自治会・商店振興会・金融機関・学校等に住民のメイトと共に講座実施。
- ・認知症カフェを「MATSUDA おれんぢの会」を任意団体とし、協働で毎月開催。
- ・地域での見守り支援を強化。会員が地域の方に声をかけ認知症カフェに繋がるケースもあり。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<p>○場所を変えて認知症カフェを開催</p> <p>第1回の緊急事態宣言後、認知症事業中止。休止中協働で開催している「MATSUDA おれんぢの会」の会員に認知症カフェの参加者へメッセージと、カフェ開催中の写真をアルバムに入れて、戸別訪問し配布。（会員とともに）</p> <p>6月から、町内の屋外施設や換気のよい広い場所へ変更し開催。</p>

担当課名：福祉課	電話：0465-83-1226
	メール：kaigo@town.matsuda.lg.jp

市町村名	テーマ
山北町	介護予防教室における認知症予防の展開

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	9,988
65歳以上人口（高齢化率）	4,004（40.1%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	1,996（49.8%）
認知症地域支援推進員の配置	平成28年度から 人数：1人 職種：保健師
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1チーム 設置場所：地域包括支援センター
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和 年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	平成30年度作成 名称：山北町認知症ガイドブック 活用方法：全戸配布、町ホームページに掲載
認知症カフェの開設	令和元年度から開設 カフェ数：1か所
認知症予防の取組	取組内容：介護予防教室における認知症予防

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<p>○介護予防教室における認知症予防の取組</p> <p>町内3地区（4箇所）で介護予防教室を開催。転倒予防のための体操を実施しています。令和2年度は認知症予防のアクティビティ（歌、ゲーム、手芸等）は感染症予防として中止し、教室参加者に認知症予防のための教材を配付しました。</p> <p>○世界アルツハイマー月間における普及啓発</p> <p>9月の世界アルツハイマー月間中、町立図書館に認知症に関する書籍のコーナーを設け、普及啓発を行いました。</p>

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<p>○サポーター養成講座</p> <p>・毎年2月に開催している町内中学3年生全員を対象としたサポーター養成講座について、令和2年度はオンライン形式での開催予定です。</p>
--

担当課名：保険健康課	電話：0465-75-3642
	メール：hoken-kenko@town.yamakita.lg.jp

市町村名	テーマ
開成町	—

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	18,154
65歳以上人口（高齢化率）	4,491（24.7%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	2,338（52.0%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成27年度から 人数：1 職種：主任ケアマネジャー
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：町
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成27年度から隔年で実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成28年度作成 名称：認知症ガイドブック 活用方法：必要な方へ配布
認知症カフェの開設	令和・平成30年度から開設 カフェ数：1
認知症予防の取組	取組内容：

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

令和2年度認知症ガイドブックの改訂を行いました。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

—

担当課名：福祉介護課 高齢介護班	電話：0465-84-0316 メール：kaigoka@town.kaisei.lg.jp
---------------------	--

市町村名	テーマ
箱根町	認知症等行方不明 SOS ネットワーク登録者への新たな支援

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	11,243
65歳以上人口（高齢化率）	4,258（37.9%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	2,190（51.4%）
認知症地域支援推進員の配置	令和・平成29年度から 人数：1 職種：介護支援専門員
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：地域包括支援センター
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 年度から実施（予定） / 無
ケアパスの作成・活用方法	令和・平成29年度作成 名称：認知症安心ガイド 活用方法：全戸配布、行政機関窓口配架、相談初期の説明時に利用
認知症カフェの開設	令和・平成2年度から開設 カフェ数：1
認知症予防の取組	取組内容：脳と体の若返り教室及びコグニサイズの普及

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

- 認知症等行方不明 SOS ネットワーク登録者へ新たな取り組みを行った。
 - ① ネットワーク登録者が他人にけがをさせたり、他人の財物を壊したり、誤って線路に立ち入り電車を止めてしまった場合などを補償する、個人賠償責任保険へ加入した。
 - ② 認知症の方等が行方不明になり保護された際、早期に身元を照会できるようにするため「箱根町 SOS 登録シール」を作成し、ネットワーク登録者に配布した。



（シール見本）

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

- おだわら・はこね家族会のリモート実施
通常会場に足を運んで開催している家族の集いであるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため Zoom を利用したリモートで実施した。

担当課名：福祉部福祉課	電話：0460-85-7790（直通）
	メール：fukusi@town.hakone.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
真鶴町	地域で認知症の方を見守り・支えられる町づくり

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	7, 130
65歳以上人口（高齢化率）	3, 033(42. 5%)
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	1, 619(53. 4%)
認知症地域支援推進員の配置	令和・ <u>平成</u> 27年度から 人数：1 職種：保健師
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所： 1
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 年度から実施（予定） / <u>無</u>
ケアパスの作成・活用方法	令和・ <u>平成</u> 29年度作成 名称：認知症安心ガイド 活用方法：公共機関等配架
認知症カフェの開設	令和・平成 年度から開設 カフェ数：なし
認知症予防の取組	取組内容：

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<ul style="list-style-type: none"> お達者教室 認知症予防を目的としたリズム体操、脳トレのプログラムを月1回実施 ゆがわら・まなづる家族会 認知症の方を介護している家族の方を対象に集いの場を提供し、介護者同士の情報交換や交流が図れるように支援している。湯河原町と合同で2か月に1回実施。 認知症をにんちしよう会実行委員会への参加 1市3町において地域住民に向けて認知症に対する普及活動を平成27年度から行っている
--

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<ul style="list-style-type: none"> お達者教室 参加者登録者のグループ分けを行い、月1回1グループ参加とし、人数制限を行う等感染対策を行い教室を実施。 認知症をにんちしよう会 毎年行っている9月のイベントは新型コロナウイルス感染症のため中止したが、「#おだわらオレンジ大作戦」とし、オレンジをテーマとしたSNS投稿を行った。真鶴町も役場健康福祉課をオレンジで飾ったり、チラシ配架し、アルツイマー月間において認知症を正しく理解することの大切さを普及啓発。

担当課名：健康福祉課	電話：0465-68-1131
	メール：ken_kaigo@town.manazuru.lg.jp

市町村名	テーマ
湯河原町	認知症の方とその家族を支える地域づくり

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	24,536
65歳以上人口（高齢化率）	10,159（41.4%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	5,555（54.7%）
認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：5人 職種：保健師、主任介護支援専門員、介護支援専門員
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：地域包括支援センター
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 年度から実施（予定） / <input type="checkbox"/> 無
ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：認知症安心ガイド（ケアパス） 活用方法：窓口や行事、医療機関へ配布
認知症カフェの開設	令和元年度から開設 カフェ数：1
認知症予防の取組	取組内容：iPadを使った脳若トレーニングの実施

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<p>○認知症初期集中支援チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 一市三町広域で合同開催。今年度後半は書面会議により支援内容を検討している。 <p>○ゆがわら・まなづる家族会</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症介護者を支援する家族会を2ヶ月に1回湯河原と真鶴で交互に開催。介護者同士の交流や医療・介護の専門職との情報交換の場として活用している。 <p>○認知症をにんちしよう会</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界アルツハイマー月間に合わせて町ホームページや facebook、Instagram にオレンジ色の物を投稿し、認知症に関する普及啓発活動（#ゆがわらオレンジ大作戦）を行なった。 <p>○一市三町若年性認知症を考える会</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師、医療機関、行政等で構成されている。今年度は計画していた認知症カフェの開催はできなかったが、認知症の人とその家族を支援する事を目的にリーフレット作りを行なった。
--

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<p>○寄り愛ゆがわら</p> <ul style="list-style-type: none"> 2カ月に1回各地域会館に出向き介護相談を開催していたが、外出自粛の時期は電話申し込みにより「出張介護相談」を行なった。

担当課名：介護課	電話：0465-63-2111
	メール：hokenka@townyugawara.kanagawa.jp

市町村名	テーマ
愛川町	認知症施策の取組み

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	40,067
65歳以上人口（高齢化率）	12,084（30.6%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	5,492（45.4%）
認知症地域支援推進員の配置	平成30年度から 人数：2 職種：保健師
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1 設置場所：地域包括支援センター
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和・平成 年度から実施（予定） / ⑧
ケアパスの作成・活用方法	平成 29 年度作成 名称：認知症ケアパス 活用方法：相談初期の説明用に使用、窓口に配架
認知症カフェの開設	平成30年度から開設 カフェ数： 2
認知症予防の取組	取組内容：コグニサイズ教室の実施

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症簡易診断システム 認知症に不安がある方への簡易診断について、町ホームページ内に専用のサイトを開設し、認知症への理解の普及啓発に努めている。 ○ 認知症カフェ 町との協働事業による、健康支援プログラムの活用や熱中症予防、基本チェックリスト実施や、介護予防事業の紹介等行っている。ケアマネ、歯科衛生士、回想法の講師を招き講話を実施。ハーモニカによる歌の実施や脳トレ等も行う。地域支援推進員として、支援、協力し、サポーター養成講座を実施する。（今年度は、カフェ通信発行で対応） ○ コグニサイズ（脳いきいき教室）の実施 12回コース（3か月間）を2回実施。業者に委託し、松井式認知症機能検査やストレッチ、頭の体操、グループコグニサイズ等を実施。（今年度は、新型コロナウイルス感染のため、1コースのみ開催） ○ サポーター養成講座 推進員として、アクティブシニア養成講座、介護予防教室や、高齢者サロン、高校生、企業、職員向けに講座を実施。（今年度は、高校生のみ実施） ○ はいかい高齢者見守りシール支援事業 QRコードラベルに必要な情報を登録し、このラベルを印刷したシールをはいかい高齢者の衣類等に貼り付け、はいかいした高齢者を発見した方が、QRコードをスマートフォンで読み取り、伝言版機能を通じて家族等に連絡をとることができる。
--

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症予防カフェ2団体から、毎月1回カフェ通信を発行。 ・ 高校で、サポーター養成講座の実施。 ・ 広報等で、認知症予防、介護予防体操の紹介。 ・ 通いの場等、介護予防チラシの配布 ・ 一人暮らし高齢者に、介護予防チラシの配布。
--

担当課名：高齢介護課	電話：046-285-2111
	メール： kourei-kaigo@town.kanagawa-aikawa.lg.jp

市町村名	テーマ
清川村	認知症について村民の誰もが正しい知識を持ち、早期に相談できる体制・地域で支える関係づくり

【自治体の情報】

人口（令和2年10月1日現在）	2,888
65歳以上人口（高齢化率）	1,048（36.3%）
75歳以上人口（高齢者に占める割合）	474（45.2%）
認知症地域支援推進員の配置	平成27年度から 人数：1名 職種：保健師
認知症初期集中支援推進事業の実施状況	チーム数：1チーム 設置場所：地域包括支援センター
認知症サポーターステップアップ研修の実施	令和2年度から実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。
ケアパスの作成・活用方法	平成29年度作成 名称：清川村認知症あんしんガイドブック 活用方法：相談初期の説明用に使用
認知症カフェの開設	令和2年度から実施（開設）予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。
認知症予防の取組	取組内容：

【（市・町・村）の認知症に係る主な取組（推進員活動含む）】

<p>○社協が支援をしながら、住民主体による住民活動（見守り、お茶飲み、体操、散歩等のサロン活動）を実施しており、サポーター養成講座等も実施している。行政も必要に応じて支援し、関係性を持ちながらサロンの継続・支援の必要な方の早期対応に努めている。</p> <p>○独居・高齢者世帯への配食サービスによる地域の見守りの実施</p> <p>○75歳以上の独居高齢者の訪問等による把握</p> <p>○引きこもり・軽度認知症の方などに対する通所型サービスAの実施</p> <p>○認知機能向上教室（脳活性化教室）の実施</p> <p>○徘徊高齢者に対する「おでかけ安心キーホルダー」の配布</p> <p>○高齢者等徘徊位置検知システム機器等購入費助成</p> <p>○「包括だより」や、村広報紙に認知症の正しい知識を掲載</p> <p>○世界アルツハイマー月間の9月に図書館内で、認知症について啓発事業の実施</p> <p>○介護家族交流会（認知症の方の家族対象も含む）の実施</p>

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

- 認知機能向上教室（脳活性化教室）の休止期間中、運動や認知症等についての動画を講師と作成し、村ホームページに掲載した。また、体操等のチラシを作成し、参加者へ配布を行った。
- 介護者交流会を一時休止したため、「交流会だより」を作成し、参加者に配布した。

担当課名：保健福祉課介護保険係	電話：046-288-3861（直通）
	メール：kaigo@town.kiyokawa.kanagawa.jp



2 県の取組

<認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進>

■ オレンジパートナー活動支援事業

・ チームオレンジ・コーディネーター等研修

チームオレンジについて、その立ち上げや運営支援等を担うコーディネーター等を対象とする研修を実施

・ オレンジパートナー・チームオレンジ連絡会議

第1回：令和2年12月23・24日実施 第2回：令和3年3月22・23日実施

オレンジパートナーネットワーク参加者を対象とする連絡会議を年2回2地区で実施（オンライン）

・ オレンジパートナーネットワークサイト開設

「認知症オレンジパートナーネットワーク」の取組を充実させるため、新たにウェブサイトを開設

ウェブサイト URL <https://orangepartner.pref.kanagawa.jp/>

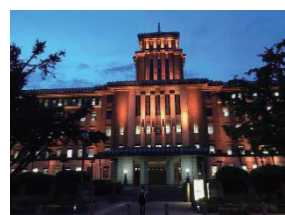


ホーム オレンジパートナーネットワークについて 活動場所を探す 地域の支援団体を探す 意見交換 神奈川県の地図 新マーク・パッチ お問い合わせ



■ 世界アルツハイマーデーかながわの実施

世界アルツハイマーデーにあわせ、9月17日～23日にオレンジ色に県庁本庁舎等をライトアップ。また、世界アルツハイマーデーに寄せたメッセージ動画を募集。今後県ホームページに掲載予定。



【ライトアップの様子】

■ かながわオレンジ大使

認知症の人本人が自らの言葉で語り、希望や生きがいを持って暮らす姿を発信する「本人発信」を後押しするため、県内で活動する「かながわオレンジ大使」（認知症本人大使）を募集。今後発表予定。

■ 「かながわキンタロウ」コラボイラストの作成

認知症に対する理解の促進を目的として「神奈川県認知症の人と家族を支えるマーク」と「かながわキンタロウ」のコラボによる新規イラストを作成。



<若年性認知症施策の強化>

■ 本人ミーティングの開催

若年性認知症のご本人の集まり。（原則毎月第3火曜日。令和2年8月まで中止。オンライン開催）

■ 若年性認知症の人が活躍できるしくみづくり事業

若年性認知症の人が役割を担うことができる居場所づくりを進めるモデル事業を実施。今後、事業報告書を共有予定。

<その他>

■ コグニサイズの普及・定着

認知症未病改善に効果が期待される。コグニサイズの講師派遣や実践者向け地域ミーティングを実施。

■ 認知症等行方不明SOSネットワークチラシ作成

認知症行方不明者の速やかな発見につなげるため、事前登録者の拡大を目的としたネットワーク周知のための広報チラシを作成。

（チラシ掲載箇所）

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f6401/p711536.html>



■ 認知症施策評価のためのアンケート調査

認知症施策に係る新たな取り組みの検討のための基礎資料とすることを目的として実施。調査結果は、今後、県ホームページ等で公開予定。

【新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組】

■ テレビ番組による情報提供

外出を控える高齢者に向け、運動やバランスのよい食事を紹介する。情報番組「今だからこそ、自宅で楽しく健康づくり～認知症改善に取り組もう～」を放送（5月～6月に5回）。

■ リモート認知症カフェ応援事業

「認知症カフェ」のリモート開催に必要なサポート。緊急事態宣言下でも、多くの認知症カフェをリモートで開催できるよう、サポートの一環として、マニュアル及び動画を作成。

（リモート認知症応援事業サイト）

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f6401/remote_cafe.html



【マニュアル(主催者編)】

3 推進員配置状況（累計）

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
配置市町村数	3	5	25	22	31	33	33	33
配置人数	3	5	37	66	108	126	131	146

※配置状況は各年度4月現在の数値

令和 2・3 年度
神奈川県認知症施策活動事例集
～認知症地域支援推進員の活動支援のために～

令和 4 年 2 月

編集 神奈川県福祉子どもみらい局 福祉部
高齢福祉課高齢福祉グループ

電話 : 045-210-4846
FAX : 045-210-8874

